

2010年度

科目名	薬物治療学C				
担当教員	雪村 時人				
配当	薬科4			コード	25450
開期	前期	講時	火曜日5限	単位数	2
授業テーマ	【必修】 薬物治療に関する基本的知識と技能を修得する。				
目的と概要	将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患、およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。薬物治療に関するヒューマニズムについて学ぶ。				
成績評価法	期末テスト(70%)およびレポートを含んだ平常点(30%)によって総合的に評価する。				
テキスト	薬と疾病 II. 薬物治療(1)日本薬学会編 東京化学同人				
参考書					
履修に当たっての注意・助言	補助教員:山形 雅代、名徳 倫明				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	腎臓・尿路の疾患(1) 腎臓および尿路疾患とは 腎不全	腎臓および尿路における代表的な疾患を挙げることができる。	C14(3)	知識
			腎不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3)	知識
			急性腎不全および間質性腎炎など薬剤性腎症を引き起こす医薬品について説明できる	独自	知識
2	講義	腎臓・尿路の疾患(2) ネフローゼ症候群	慢性腎臓病(CKD)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	独自	知識
			ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3)	知識
3	講義	腎臓・尿路の疾患(3) 糸球体腎炎 糖尿病性腎症 尿路感染症 薬剤性腎症 尿路結石	以下の疾患について概説できる。 糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、尿路結石	C14(3)	知識
4	講義	腎臓・尿路の疾患(4)演習	指定された腎臓・尿路の疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	C14(3)	技能
5	講義	生殖器疾患(1) 生殖器疾患とは	男性および女性生殖器に関する代表的な疾患を挙げることができる。	C14(3)	知識
6	講義	生殖器疾患(2) 前立腺肥大症	前立腺肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3)	知識
7	講義	生殖器疾患(3) 前立腺癌 異常妊娠 異常分娩 不妊 子宮癌 子宮内膜症	以下の疾患について概説できる。 前立腺癌、異常妊娠、異常分娩、不妊、子宮癌、子宮内膜症	C14(3)	知識
8	講義	生殖器疾患(4)演習	指定された生殖器疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	C14(3)	技能
9	講義	呼吸器・胸部の疾患(1) 肺と気道の疾患とは	肺と気道に関する代表的な疾患を挙げることができる。	C14(3)	知識

10	講義	呼吸器・胸部の疾患 (2) 閉塞性気道疾患 (気管支喘息、肺気腫)	閉塞性気道疾患(気管支喘息、肺気腫)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(3)	知識
			喘息を引き起こす非ステロイド性抗炎症薬について概説できる。	独自	知識
11	講義	呼吸器・胸部の疾患 (3) 上気道炎(かぜ症候群) インフルエンザ 慢性閉塞性肺疾患 肺炎 肺結核 肺癌 乳癌	以下の疾患について概説できる。 上気道炎(かぜ症候群)、インフルエンザ、慢性閉塞性肺疾患、肺炎、肺結核、肺癌、乳癌	C14(3)	知識
			間質性肺炎を引き起こす医薬品について概説できる。	独自	知識
12	講義	呼吸器・胸部の疾患 (4)演習	指定された呼吸器・胸部の疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	C14(3)	技能
13	講義	移植医療	移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	C14(4)	知識
14	講義	緩和ケアと長期療養	癌性疼痛に対して使用される薬物を列挙し、使用上の注意について説明できる。	C14(4)	知識
			長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について説明できる。	C14(4)	知識
15	講義	まとめ 腎臓と尿路の疾患 生殖器疾患 呼吸器・胸部疾患	腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患、およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品の説明ができる	C14(3)	知識
			腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患の薬物治療に必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	C14(3)	技能
授業方法					
一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C14(3)	講義	講義室	1(1)	配布資料など	90×15